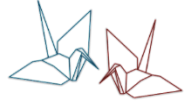


未来に向かって伸びる鶴嶺の子

茅ヶ崎市立鶴嶺小学校
校長 平木 恵美
令和3年12月24日発行

鶴小だより 冬休み号

子どもの心が動くとき その2



令和3年もあと少しで終わり、新たな年を迎えようとしています。先日、朝挨拶をした後、「校長先生はサンタさんに何を願うの？」と聞かれました。その子は「私は〇〇を願うするんだー」と嬉しそうに言っていました。いつもに増して笑顔いっぱいの挨拶してくれました。

さて、今年の漢字は東京オリンピックがあったこともあり、「金」が選ばれました。そのほかに「変」という字が候補にあがっていました。学校現場においても、昨年からのコロナ対応のために日々の生活が変化したことに加え、今年も変化が大きい年でした。その一つに、タブレットの配付されたことがあげられます。それによって、学習スタイルが大きく変わりました。教室のみならず、教室外にもタブレットを持ち出し、写真や動画を取るなどして授業に活用をしています。各学年に配置されている大型モニターの活用も進んでいます。タブレットやモニターを活用し、わかりやすく、そして楽しく学習を進める姿が様々な場面で見られるようになったのは大きな変化です。

昨年あまりできなかった校外学習については、今年度は何とか全学年バス遠足ができました。先日は、修学旅行の代替旅行として6年生が八景島シーパラダイスに行き、水族館やアトラクションを満喫し、仲間と笑顔で協力しあう頼もしい姿が見られました。また、5年生が情報モラル教室を、3年生は大豆づくりでご協力いただいた方たちを招いて「大豆ありがとうの会」を開きました。講師に招き、学びを進めることができるようになってきています。このように学習スタイルはその時の状況で変化をしていますが、子どもたちが興味を持つことで学びへの意欲が高まり、楽しいことによって心が動き成長につながることは、今も昔も変わらないと感じました。

明日から冬休みに入ります。冬休みは子どもたちにとって嬉しいことがたくさんあることでしょう。心がいっぱい動き、心も体も一回り大きく成長した子どもたちに会うのが楽しみです。

今年も保護者・地域の皆様には、日々温かく見守っていただくとともに多くのご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

みんな大好き鶴嶺小学校！

3年生が12月はじめに、
学区探検の一環として個々に関心を持った場所に行き、
地域の方からお話を聞いてきました。鶴嶺地区は昔から
人々が生活してきた地域で、歴史的な価値があるものも
多くあります。3年生になるとそういった地域のことが
学べます。それは、鶴嶺小学校ならではの学びです。

この学習で地域のこ
とを知り、地域を大切
に思っ
てほしいと
願っています。地域の
方々のご協力あって
の学区探検です。ご
協力ありがとうございます。



本社宮では、おみこしや山車を見
せていただきました。

また、中旬には
集会委員会主催で全校児童対象に
大縄大会が行われました。これはコ
ロナ以前は鶴嶺小学校で毎年集会
委員が取り組んできた活動が再開し
たものです。こういった活動を通し
て友だちと関わり、教科書にはない
学びができるのもすてきですね。

